

「呉市の日本遺産学習ノート」について

宮原中学校が作成した「呉市の日本遺産学習ノート」は、A5判で、見開き2ページに、生徒が取材・調査した呉市の日本遺産20か所の情報をまとめている。呉市教育委員会学校安全課のホームページからもダウンロードすることができる。

【内容】

- ◆ 「日本遺産」とは？
- ◆ 構成文化財について（20箇所）
- ◆ 日本遺産クイズにチャレンジしよう！

(例) 旧鎮守府は日本全国に何か所あったでしょうか。

ア 2か所 イ 4か所 ウ 6か所 エ 8か所

(例) 日本遺産を認定するところはどこでしょうか。

ア ユネスコ イ 環境省 ウ 文化庁 エ 国土交通省

- ◆ やってみましょう

(例) あなたが好きな構成文化財の一つを選び、次のア、イの条件に合わせて文章を書いてみましょう。

ア 第1段落には、選んだ構成文化財の説明を書く。第2段落には、その構成文化財を選んだ理由を書く。

イ 180字以上、200字以内で書く。



取材・調査している様子

No.6 海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎（旧呉鎮守府庁舎）

所在地 〒731-8654 呉市幸町8
 行き方 JR呉駅から 徒歩15分(約1000m)
 3番のりば(音戸倉橋島方面行) 5分、「総監部前」下車すぐ
 3番のりば(阿賀方面行) 5分、「総監部前」下車すぐ

城山の入口から入り、受付をしましょう。見学する場合は、事前連絡が必要です。

※日曜日のみ見学ができます。問い合わせは海上自衛隊呉地方総監部広報係 (Tel: 0823-22-5511 内線2702) まで。

☆解説
威風堂々(いふうどうどう)とした造形の美しさを誇る旧呉鎮守府庁舎は、

解説

明治40(1907)年に竣工(しゅんこう)しました。中央部にドームを配し、れんがと御影石(みかげいし)を組み合わせた近代洋風建築に当時の技術力の高さがうかがえます。鎮守府のまち呉を礎(し)のぶ代表的な建造物であるとともに、現在、呉地方総監部第一庁舎として大切に活用されています。

正面だけでなく、海側も正面と同じような造りをしていました。戦前からの建物が残っていて、多岐にわたって使われていることはすごいと思いました。

■やってみよう・調べてみよう・考えてみよう
 ○旧呉鎮守府は明治何年に開庁したでしょうか。
 ア 19年 イ 20年 ウ 22年 エ 32年
 ○第二代呉鎮守府庁舎(現海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎)は、明治何年に竣工(しゅんこう)したでしょうか。
 ア 20年 イ 30年 ウ 40年 エ 45年
 ○旧呉鎮守府庁舎裏には、地下通路への入口がありました。どこにつながっていたでしょうか。
 ア 呉駅 イ 入船山記念館 ウ 地下作戦室 エ 呉市役所
 ○旧呉鎮守府庁舎の中央部のドームは何でできているでしょうか。
 ア 鉄 イ アルミニウム ウ 銅 エ その他

所在地等

メモ

生徒の感想

やってみよう
調べてみよう
考えてみよう

メモ

【作成した生徒(宮原中)の感想】

- ◆ さまざまな日本遺産をめぐることによって日本遺産について深く知ることができた。呉や宮原の歴史について学ぶことができた。もっと知りたいと思った。学習ノートの次も何か続きを作りたい。
- ◆ とてもいい経験になったので、また作りたいです。
- ◆ 呉市の良さを知ることができました。実際に日本遺産を調査して勉強になりました。呉市や宮原のことが好きになりました。

